



学校だより

令和6年4月8日
福生市立福生第三小学校
校長：浅倉 宏之
住所：福生市牛浜162
電話：551-0249

<http://fussa-3e.hs.fussa.school/>

令和6年度のスタートにあたり

校長 浅倉 宏之

今年は桜の開花も遅れていましたが、校地内の草花が花を開くと同時に、桜の開花が始まりました。まるで新年度を祝うかのようなタイミングに気持ちも晴れやかになります。保護者の皆様におかれましては、お子様のご入学、ご進級、おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。今年度は48名のかわいらしい新入生を迎え、総児童数381名、13学級で令和6年度がスタートしました。福生第三小学校の「◎よく考え やりぬく子 ○思いやりのある 心豊かな子 ○進んで体をきたえ 健康な子」の教育目標の下、本年度は「子供も教師も自分らしく輝く学校」を目指し、『学校大好き 友達大好き 先生大好き』を教育活動推進スローガンに掲げ、その実現に向けて教育活動を進めてまいります。

学校は勉強するところですから、まずは、その勉強が「分かる」「できる」ように、教職員一同、子供たちの伴走者として、全力で支えていきます。勉強が「分かり」「できる」ようになれば『学校大好き』と笑顔で言ってもらえるようになると信じています。次の『友達大好き』は、たくさんの友達に囲まれ、お互いが認め合い、支え合える、安心した学校・教室環境を目指します。そのために、思いやりの心を育むように、普段の授業はもちろん、様々な行事や特別活動の内容を充実させていき、人との触れ合いを大切にします。最後の『先生大好き』はいつも子供に寄り添い、信頼される教師を目指し、子供たちに「最後は先生が何とかしてくれる」と頼られるように、子供たちの心情を機微に捉えるように尽力していきます。些細なことも見逃さず、アンテナを高く、敬意と誠意をもって指導に当たります。

また、福生市の教育施策でも掲げられている「魅力ある学校づくり」も引き続き力を入れていきます。学校の第一義は「勉強」と前述しましたが、第二は人間関係だと思っています。魅力ある学校とは居心地の良い学校と私は定義しています。では居心地の良さとは何かというと、皆が周りの人たちをどこまで思いやれているかではないかと思います。数年前に米国のアイオワ州立大学が発表した研究によると、「他者への思いやりが幸福度を上げる」、「他人の幸せを願う人ほど幸せになれる」、「利他的な行動によって自分自身の人生の幸福度が大きく向上する」というような結果が示されています。私たち人間は本質的に、自分だけがよいのではなく、他者にとってもよいとなるように考え、実践し、成果を出すことに、幸せを感じるものだと思います。「喜んでもらいたい」とか「褒めてもらいたい」など、動機は様々ですが、その動機付けに「他者」が関わっていることは非常に重要です。そのための学校生活ですし、学級等の集団の中で、自己有用感をもち、自尊感情や自己肯定感を高めていくことは、小学校での大切な学びの1つです。そうやって築いた豊かで楽しい学校生活は居心地が良く、そこに子供たちも幸せを感じるはずだと信じています。

そんな学校になるように、本年度も教職員一同、尽力してまいります。保護者、地域の皆様には、引き続き、本校教育活動への御理解・御協力・御支援をお願いすることも多くなると思いますが、どうぞよろしく願いいたします。